

4.地域の歴史紹介コーナー

程ヶ谷カントリー倶楽部について

大正3年(1914年)に程ヶ谷カントリー倶楽部の前身である東京ゴルフ倶楽部が東京駒沢の地で結成されましたが、その後、会員数の増加で手狭となり東京近郊で適切な地を探していたところ横浜西部にある常盤公園の隣に当時は人も寄りつかない手つかずの広大な丘陵地を見つけ、岡野欣之助氏の勧めにより「程ヶ谷カントリー倶楽部」として大正11年(1922年)に9ホールが完成しました。ほどなく18ホールとなり日本初の本格的ゴルフコースが誕生しま



した。このクラブからはプロゴルファーの中村寅吉なども育つ名門コースとして発展していき数多くの名勝負を生みました。ただし地元からは金持ちの道楽施設としてあまり歓迎されなかったそうです。戦後、接收され米軍専用となります。その後間もなく接收が解除され日米共同で使用できることとなり、名門ゴルフコースの復活となりました。

今では時効でしょうが、常盤台の子供たちは金網の破れている所からコースに侵入し起伏を存分に生かしへニヤの薄板やダンボールに口ウを塗り、米兵の目を盗んでは暗くなるまで芝スキーに興じたり、ティーグランドで相撲を取ったりと彼ら(筆者も含みますが)にとっては格好の遊び場でした。

昭和42年(1967年)に旭区に移転し、跡地に横浜国立大学が誘致されました。

横浜国立大学の変遷

昭和24年(1949年)、横浜経済専門学校、横浜工業専門学校、神奈川師範学校、神奈川青年師範学校の4校を統合し3学部で構成される横浜国立大学が誕生しました。神奈川県内で分散していたキャンパスは、昭和49年(1974年)に統合移転を始め、昭和54年(1979年)にはこの常盤台キャンパスが完成します。これを記念して行われたのが、どんぐりの木の植樹で、それらが現在の常緑の森に成長しました。緑に囲まれた白亜の建築群と野外音楽堂を特徴とするこの常盤台キャンパスは、地域住民の散歩ルートや通学路、バス乗り場になるなど街に開かれたキャンパスとして存在しています。

平成16年(2004年)に国立大学法人となった横浜国立大学は、「実践性」「先進性」「解放性」「国際性」の4つを理念として掲げ、「実践的学術の国際拠点」を目指していくことを宣言します。これらを明確にするためにYNU(Yokohama National University)という呼称を用いるようになり、ロゴマークや、シンボルカラーもできました。

平成29年(2017年)には、文理が融合した『都市科学部』を新設、都市問題を科学的に学ぶことでこれから都市を担う人材育成に力を入れています。



編集後記

今回の第5号はワークショップの内容を中心に載せています。ワークショップは、コロナウイルス感染予防のため各自治会からの参加者を制限して開催しています。早く、大人数でワイワイやりたいですね。次号の地域まちづくりニュースも楽しみにしていてください。

羽沢横浜国大駅周辺地域

地域まちづくりニュース NO.5

発行日2022年1月

1

横浜国大ワークショップ報告
2021/11/6 横浜市常盤台地域ケアプラザにて

第47回 地域の ルートマップについて 考えよう!

今回のワークショップ(WS)は、自分たちの通学路や、普段使っている道について理解を深めながら、状況に合わせた3つのルートを考えるWSです。

国大生と地域の皆さんだけでなく、保土ヶ谷中学校でボランティア活動をしている生徒たちも参加し世代を超えた活発な意見交換が行われました。

ワークは、小中学生への事前アンケートや参加者の意見をもとに危険箇所・魅力ある箇所を地図に記入するところから始まりました。そこからわかった情報を踏まえ①子どもの通学、②高齢者の散歩、③女性の帰宅、という3つのシチュエーションを想定します。それぞれのシチュエーションで、もっとも良いルートをそれぞれ考えます。最後には考案したルートを客観的に点数をつけ発表しました。左図は考案されたルートの一つです。

皆さん、普段から通る道の問題点は承知していて、いずれも厳しめの評価をつけていましたが、最後に国大の大原先生からは「厳しい評価は愛情の裏返し」との総括をいただき、この町をより良くしたいが故と思い入りました。

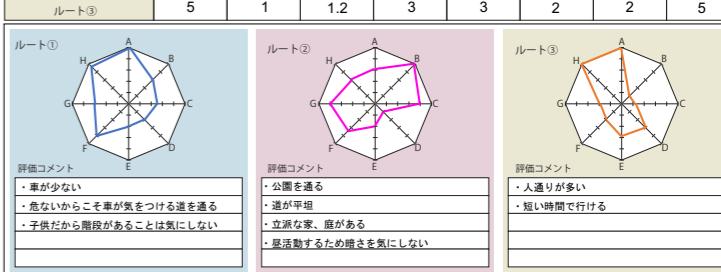


○ワーク内容
指定する3つのシチュエーションのそれぞれについて前半ワークの危険箇所・魅力度のマップと評価例(別紙)を参考にしながらルートを作成し、そのルートを評価してください。

評価基準
A. 早さ 早い(5)→遅い(1)
B. 路通り 少ない(5)→多い(1)
C. 魅力度 高い(5)→低い(1)
D. 人通り 多い(5)→少ない(1)
E. 夜の明るさ 明るい(5)→暗い(1)
F. 道の状態 (道幅、舗装、歩道の有無など)
G. 上り下り 緩やか(5)→激しい(1)
H. 距離 短い(5)→長い(1)

評価シート

	A. 早さ	B. 路通り	C. 魅力度	D. 人通り	E. 夜の明るさ	F. 道の状態	G. 上り下り	H. 距離
ルート①	5	3	2.5	2	2	4	3	4.8
ルート②	3	5	4	1	2	3.5	4	3
ルート③	5	1	1.2	3	3	2	2	5



WSの様子



今回のWSには中学生も参加してくれました。ずっと住んでいても、立場が違えば知らないこともたくさん。彼らからの新鮮な意見にはハッとさせられました。世代を超えた地域住民の意見が飛びかい、何よりも、みんなが楽しく交流できたように思います。来年度にも期待です！



参加した中学生の感想

ぼくも住んでいる土地に詳しい高齢者になりたいと思った。みなさん話すのがうまいので勉強していきたい。



自分がその人の立場になって発言できた。大学生と交流できて良かったし、これからも続けて交流していきたい。



年上の人と話す機会がないので話せて楽しかった。道の良さと悪さを知ることができて、良かったので、とてもいい機会だと思った。

3 サイン製作・設置グループ活動報告

街が大きく変わろうとしている今、駅前の開発だけでなく新たな「周辺地域のまちづくり」も必要となります。私たちは羽沢・常盤台に住む人々が地域に愛着を持って暮らせるこことを目標に、まずは、地域を知っても

らうために5種類の「サインづくり」を進めています。地域WSを通して多くのアイデアを反映しデザイン決めてきたサインは、製作・設置の段階に移りました。

○サイン概要

項目(種別)	数量	設置場所
①坂・道名称サイン	64枚	各自治会・町内会 A:支柱有り(10ヶ所) B:支柱無し(54ヶ所)
②歴史・特産品紹介サイン	10基	A:常盤台地区(6ヶ所) B:羽沢地区(4ヶ所)
③地図付き案内サイン	2基	A:羽沢横浜国大駅前広場 B:コミュニティプロムナード
④ギャラリー展示サイン	2ヶ所	A:横浜国大ギャラリー 国大西門通りブロック塀 B:駅前ギャラリー タワーマンション駐車棟壁
⑤バリアフリー警告サイン	*	検討中

第一段階

第二段階

2 羽沢横浜国大駅周辺開発の近況

2021/12現在

これから毎号、駅周辺の開発状況をお知らせしていきます。

『HAZAWA VALLEY』

右の写真は、最近の街の様子です。複合商業施設と住宅棟の建設中です。ここは23階建てが建ち、下層階はスーパー、レストラン・カフェ、物販などの店舗や、横浜国立大学の活動支援施設、医療施設、子育て支援施設、農業支援施設などが入る複合商業施設になり、その上はマンションになります。

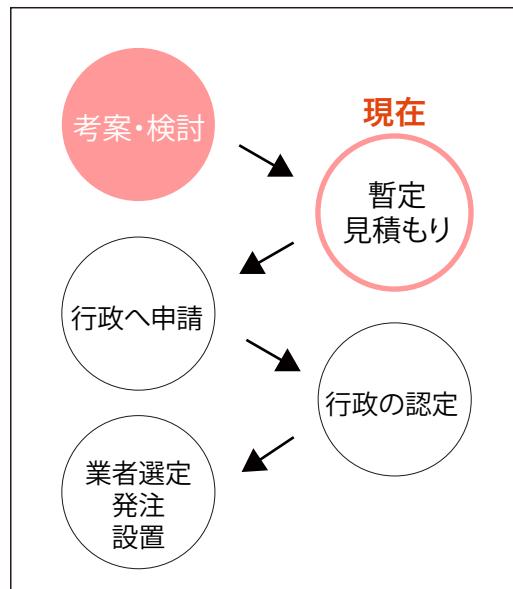


(HAZAWA VALLEY オフィシャルサイト)
2021年5月にドラッグストア「クリエイトエス・ディー羽沢横浜国大駅前店」がオープンしました。医薬品や化粧品だけでなく、肉、野菜、果物などの生鮮食品や、お酒、冷凍食品なども扱っており近所の住人にはスーパーができたと喜ばれています。

現在は、サイン制作設置グループ15名を中心に、デザインの調整・見積取得・設置等の業者選定並びに発注等、実現に向けて進んでいます。

サイン項目(種別)と設置までの流れは下記の通りです。第一段階と第二段階に分けて5種類のサインを設置していきます。

○製作スケジュール



○サイン板・支柱概要

○サイン板寸法	○サイン支柱地上高さ寸法
①坂・道名称サイン(300mm × 450mm)	①坂・道名称サイン(1,000mm)
②歴史・特産品紹介サイン(900mm × 1,500mm)	②歴史・特産品紹介サイン(1,800mm)
③地図付き案内サイン(1,200mm × 1,800mm)	③地図付き案内サイン(2,100mm)
○サイン板形状	
①坂・道名称サイン	
②歴史・特産品／③地図付き案内サイン	

○サイン支柱地上高さ寸法

①坂・道名称サイン(1,000mm)

②歴史・特産品紹介サイン(1,800mm)

③地図付き案内サイン(2,100mm)